

# ワクワクドキドキ みせん 弥山 散策マップ

このマップを持って  
弥山に登ってみよう!!



廿日市市 環境産業部 観光課

## みどころ 3 大ポイント

- 山頂からの絶景**  
伊藤博文は弥山頂上からの眺めを「日本三景の一の真価は頂上の眺めにある」と感嘆したそう。
- 世界遺産「弥山原始林」**  
1万年以上も前からほとんど人の手の加わっていない貴重な自然が残る。
- 史跡、神社、仏殿、パワースポット巨岩奇石めぐり**  
弥山の歴史、自然の持つ不思議な力、昔からの言い伝えによる数々の史跡、パワースポット、弥山七不思議、霊山ゆかりの伝説がたっさん。

## ロープウェー

楽しく登っちゃう?ロープウェーも良いよね!  
ロープウェーからの眺望  
驚異の空中散歩  
まるで空を歩いているかのように、瀬戸内海の絶景や原始林の眺めが楽しめます。ロープウェーでの空中散歩は、弥山観光のもうひとつの魅力です。

普通料	大人 1,800円(往復)・1,000円(片道) 小人 900円(往復)・500円(片道)
営業時間	12月~2月 9:00~16:30(下り最終便 17:00) 11月 8:00~17:00(下り最終便 17:30) 3月~10月 9:00~17:00(下り最終便 17:30)

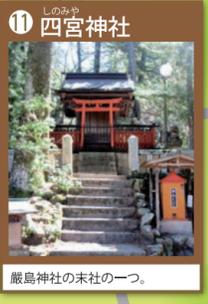
紅葉谷駅	乗車時間10分	乗車時間4分	獅子岩駅
	運行間隔1分	運行間隔15分	

無料送迎バス  
もみじ谷入口から無料送迎バスあり。(20分間隔、乗車時間3分)

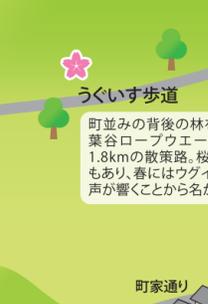
## 弥山散策マップ

もっと宮島が好きになる...

日本三景の一つ「宮島」といえば、何を思い浮かべますか? 世界遺産でもある「厳島神社」と答える方が多いでしょう。でも忘れてはいけないのが、「弥山」!!  
実はとても奥が深く、1万年以上前から手つかずの自然のまま大切に残されている。  
山頂には巨岩群が見られ、その北斜面には天然記念物に指定された弥山原始林が広がる。史跡も数多く残り、毎年たくさんの観光客が訪れる。西日本有数のパワースポットの一つと言えるだろう。四季が変われば、また楽しみ方が変わる弥山。  
紅葉谷コース、大聖院コース、大元コースの3コースからお時間、体力、お好みに合わせてお楽しみください。  
それぞれの写真や時間などを入れたマップを参考に、手軽に楽しく弥山の魅力に触れてみませんか?



11 四宮神社  
厳島神社の末社の一つ。



2 紅葉谷公園  
町並みの背後の林を抜け、紅葉谷ロープウェー駅までの1.8kmの散策路。桜の名所でもあり、春にはウグイスの鳴き声が響くことから名がついた。



10 豊国神社(千畳閣)  
豊臣秀吉が千部経を誦経するために建立。秀吉の死により未完成。



8 大鳥居  
海の中に建つ約16mの大鳥居は宮島のシンボル。



7 厳島神社  
平安時代の寝殿造りの影響を強く受け、海上に浮かんでいるように建てられた世界でもまれな社殿。



6 大願寺  
大願寺の本尊厳島弁財天は、日本三大弁財天の一つ。



5 多宝塔  
純和様を基調とし、上層部に天竺様(てんじくよう)、内部は禅宗様を取り入れた珍しい建築様式。



4 大元神社  
厳島神社よりも前に建てられたという伝承がある古社。



10 豊国神社(千畳閣)



9 五重塔  
千畳閣の隣に建つ、和様と唐様を巧みに調和させた建築様式の美しい塔。



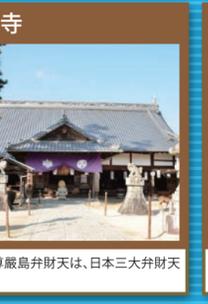
8 大鳥居



7 厳島神社



6 大願寺



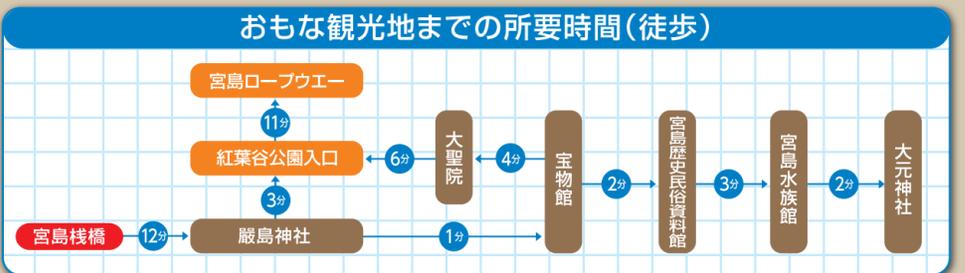
5 多宝塔



4 大元神社

### 宮島を信仰した偉大な歴史人

- 弘法大師空海** 真言宗の開祖。806年、霊峰弥山は弘法大師空海によって開かれた。
- 伊藤博文** 初代総理大臣伊藤博文は弥山信仰に篤く、1906年に弥山への参詣道の改修に尽力した。大聖院登山コース入口にその記念碑がある。
- 平清盛** 平安時代末期の武将。平家は瀬戸内海で中国と日宋貿易を行っていた。この先の平家の安泰を願い、「厳島神社」を現在の規模に造営した。



1 弥山山頂(535m)



2 紅葉谷公園



3 大聖院

### 弥山原始林について

《弥山原始林》は、天然記念物、特別保護区、世界遺産になっています。昔からほとんど人の手が加わることがなかったため、本土と比べ自然度の高い植生が残されており

- ①寒い場所に生息する種と暖かい場所に生息する種が共存している。
- ②貴重種がある(ヤマグルマ、マツバサ)などの特徴があります。ドイツの植物学者エングレー博士は、「できるなら一生ここに生きてここで死にたい」と絶賛されたほどです。一度壊れてしまうと、なかなか元通りにはならない貴重な弥山の自然を守り、後世に残していかなければいけません。

### 環境保全

海岸にうち上るゴミやゴミを食べて起こる鹿の健康被害など自然環境に関する課題は深刻です。古来からの美しい自然を守るために、ご協力ください。

### お願い

- ゴミやたばこの吸い殻を捨てない。
- 山の植物、岩を傷つけたり、持ち帰らない。
- 生態を守るために鹿に餌を与えない。(特にビニールは消化しないので厳禁)
- 登山道以外はむやみに踏み荒らさない。

発行:廿日市市 環境産業部 観光課  
〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号  
☎(0829)30-9141

緊急時 連絡先  
【宮島ロープウェー】☎(0829)44-0316  
【廿日市警察署・宮島駐在所】☎(0829)44-1110

## 弥山散策の注意事項

- ①体力に自信がなく、初めて弥山に登る人は、先ずロープウェーを利用して獅子岩駅からの弥山頂上往復がおすすめです(往復約1時間)。
- ②体力に自信があり、ロープウェーを利用せずに弥山に登る方におすすめコースは、上りは、庭園をゆっくり楽しみながら行ける紅葉谷コース、下りは、道が整備されている大聖院コースです。
- ③夕方からの登山は日没となるので避けましょう。(夏は19時、冬は17時が日没目安で、日没時間やロープウェーの最終便を確認して登ってください。もし遅れそうな場合は、比較的明るい大聖院コースを下山して下さい。)(携帯電話は頂上周辺はつながりにくいのご注意ください)
- ④自分の体力を過信せず、無理をしないようにしましょう。海拔0mから一気に頂上の標高535mまで上ります。
- ⑤こまめに休憩し、水分補給も忘れずに行きましょう(特に夏季)。
- ⑥弥山は階段や急な坂が多いので、特に下りは歩幅を小さく、転倒しないように気をつけましょう。
- ⑦歩く前は少し寒い位の服装の方が汗をかきにくいので体が冷えません。(冬季)
- ⑧マムシ・スズメバチ・ダニ・アナグマに注意しましょう。

### 装備

- 水 ●食べ物
- 雨具(防水だけではなく、防風・防寒)又は傘
- 帽子(夏季は必須)
- タオル
- 防寒着(冬季は必須)
- トレッキングシューズ又はウォーキングシューズ(底が滑りにくく、膝に優しい厚いソールならOK。さらになるぶしまであと控してください)
- ザック又はナップザック(背中に背負うと手が自由になり、歩きやすい)
- ウエア(吸汗速乾素材がラク)
- ストック又はつえ(下るとき膝がラク)
- 日焼け止め・ばんそうこう、いざという時の保険証など